

上位項目に係る事例調査の結果概要

用途・機能名	3-1	県の観光・歴史文化の情報拠点	メイン13票
4 類似事例の特徴等 <ul style="list-style-type: none"> ・概ね施設規模に応じた入場者数となっている ・駅周辺以外は大型バス駐車場が設けられている ・外国人観光客の増加に伴い、スタッフが着物などを着用し出迎え ・イタリアンレストラン（姉妹都市）の評判がよい ・国際観光振興機構から「ビジット・ジャパン」案内所として指定 ・県市の観光情報施設の二重体制で情報発信しており、バックアップ体制が整っている ・施設の割引チケット等も配布している 			
5 類似施設における成功要因・課題点 <ul style="list-style-type: none"> ①成功要因 <ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点としては、大型バス駐車場は必須 ・官民一体での運用が成功要因でもあり、今後のさらなる課題でもある。 ②課題 <ul style="list-style-type: none"> ・駅構内にある観光案内所の方が利用が多い 			
6 長崎県県庁舎跡地に導入した場合の利点、課題点 <ul style="list-style-type: none"> ①利点 <ul style="list-style-type: none"> ・県内全域の観光や魅力を紹介・発信する施設がない。新幹線開業なども見据え観光客等の目を県内全域にも向け、再度訪問するきっかけをつくる取組みも必要で、その拠点となる可能性がある。 ・この場所の持つ歴史性を活かせる ②課題点 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の入口である駅やバスターミナルから、情報収集のためにわざわざ移動するか疑問 ・観光案内機能の単独では、集客数は多くを見込めない ・平日の対策が必要（県民市民向け） ・長崎駅に長崎市が設置している総合観光案内所機能があるが、これとの重複、棲み分け ・歴史文化博物館は、まずここで長崎の歴史の知識を得て、県内全域に行ってもらおうための施設と位置づけられていたが、これとの棲み分け 			

用途・機能名	4-1	伝統芸能資料館、伝統工芸館	メイン6票
--------	-----	---------------	-------

1 当該機能の考え方（事務局としての整理）
 ・ 伝統芸能展示（お祭りの山車展示除く）及び伝統工芸の展示等を行うもの

2 委員アンケートで当該機能と組み合わせられた他の機能
 1票 【7-2】くち広場、出し物展示場
 【4-2】体験型観光集客施設

3 類似事例の施設概要

①調査事例の内容、施設構成等

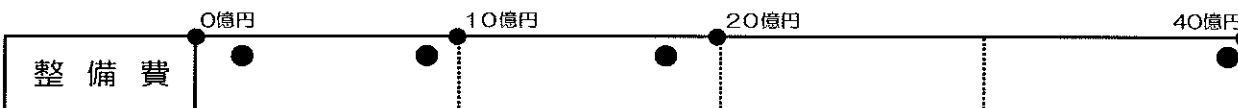
当該用途機能	<ul style="list-style-type: none"> ○工芸品の常設展示、特別展示 ○工房（製作体験） ○映像シアター ○ギャラリー、展示ホール ○図書閲覧室
他の用途機能で付帯しているもの	<ul style="list-style-type: none"> ○土産施設（10施設中5施設） 物産館、ミュージアムショップ、土産品店 ○飲食施設（10施設中2施設） セルフカフェ、カフェ ○会議室（10施設中1施設） ○展望ラウンジ（10施設中1施設）

②規模別の概要

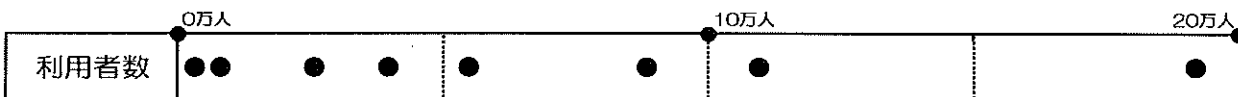
	小規模	大規模
延床面積（分布）	0㎡	2千㎡ 5千㎡ 8千㎡
整備費（判明分平均）	約48万円/㎡ （2施設の平均）	約57万円/㎡ （2施設の平均）
利用者数	約0.2万人～8.5万人	約4.5万人～約19万人

※建築面積（平屋）

③整備費（分布）



④利用者数（分布）



<p>4 類似事例の特徴等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大でも20万人程度の入館者にとどまる。 ・職人の指導のもとでの製造体験や実演体験などを行っている ・社会科見学などでも多く利用されている ・講座や講習会を開催している ・県市の観光情報施設の二重体制で情報発信しており、バックアップ体制が整っている
<p>5 類似施設における成功要因・課題点</p> <p>①成功要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の工芸品が当施設でほぼ入手することができる ・職人の実演や指導員による体験教室の開催 ・年間を通して伝統芸能で実際に使用される物を観覧できる ・当施設でしか見ることができない演目がある <p>②課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職人の高齢化、後継者不足 ・PR不足
<p>6 長崎県県庁舎跡地に導入した場合の利点、課題点</p> <p>①利点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の伝統芸能や伝統工芸を知ってもらうことで、土産物消費増や観光客増に寄与 <p>②課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能・伝統工芸の展示機能の単独では、集客数は多くを見込めない ・特に平日閑散とする恐れ有り ・県が整備する場合、県内全域を対象とする必要がある ・既存の資料館等とのすみ分けの整理

用途・機能名	3-2	観光の出入口となる拠点（まずここに来てそこから回遊）	メイン5票
--------	-----	----------------------------	-------

1 当該機能の考え方（事務局としての整理）
 ・市内の観光のスタート地点となるもの

2 委員アンケートで当該機能と組み合わせられた他の機能

3票 【3-1】 県の観光・歴史文化の情報拠点

2票 【6-1】 展望機能（展望タワー、展望台、展望ロビー）
 【10-1】 バスセンター、バスターミナル

1票 【1-2】 歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点、【3-3】 離島の魅力を伝える施設
 【4-7】 コトハジメ館、【5-1】 ランドマークタワー、シンボルトワー
 【7-1】 歴史公園、史跡公園、【7-2】 くんち広場、出し物展示場
 【7-3】 イベントスペース、【8-1】 特産品・土産品店（アンテナショップ、道の駅含む）
 【8-3】 飲食店、カフェ、レストラン、【10-2】 駐車場、地下駐車場
 【12-2】 県民交流センター

3 類似事例の施設概要

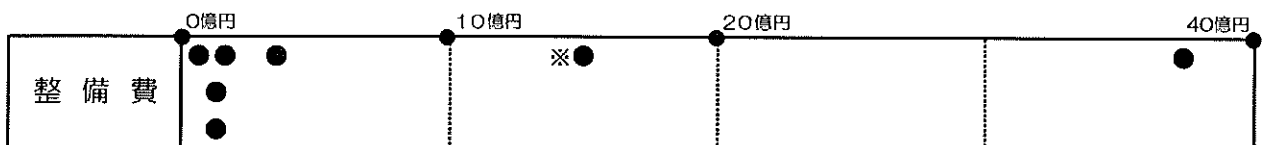
①調査事例の内容、施設構成等

当該用途機能	<ul style="list-style-type: none"> ○駅周辺にある観光案内所 ○観光スポット周辺又は観光施設内にある観光案内所 ○道の駅風な郊外型の観光案内所 <ul style="list-style-type: none"> ・情報検索コーナー ・観光ガイド受付 ・インターネットコーナー ・観光ガイド受付 ・観光パンフレットコーナー ・観光プロモーションDVD視聴コーナー 特産品情報コーナー ・展示コーナー ・イベントスペース ・レンタル車椅子、ベビーカー、自転車
他の用途機能で付帯しているもの	<ul style="list-style-type: none"> ○土産施設（10施設中5施設） ミュージアムショップ、特産品コーナー ○飲食施設（10施設中4施設） 食事処、展望喫茶、カフェ

②規模別の概要

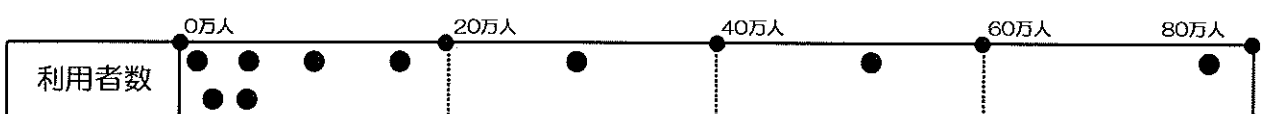
	小規模	大規模
延床面積	0㎡ ~ 500㎡	1000㎡ ~ 3000㎡
整備費	約51万円/㎡ (5施設の平均)	約74万円/㎡ (1施設)
利用者数	約0.7万人~78万人	約47万人

③整備費（分布）



※解体費含む

④利用者数（分布）



4 類似事例の特徴等

- ・まち歩きをしながら観光情報を収集できる拠点として活用されている
- ・平日夕方時はオープンスペースを高校生が勉強スペースとして活用されている
- ・観光客のみならず、駅利用者等の待ち合わせ場所などにも活用されている
- ・観光ボランティアガイドが常駐している
- ・県市の共同で設置する総合観光案内所
- ・団体客用の専用フロアがある
- ・タッチパネル式の端末を設置

5 類似施設における成功要因・課題点

①成功要因

- ・外国語対応の評判がよい
- ・観光庁から指定を受けた案内所であることも1つの要因

②課題

- ・施設が立派すぎて敷居が高く、気軽に立ち寄ってもらえない
- ・専用の駐車場がない
- ・旅行エージェントにおける認知度が低い

6 長崎県県庁舎跡地に導入した場合の利点、課題点

①利点

- ・中心市街地にも近く、都市の中心となる場所であること、この場所自体が歴史性があることを活かせる
- ・地域の新たな魅力や価値の発見につながり、観光の魅力アップにつながる

②課題点

- ・観光客の入口である駅やバスターミナルから、情報収集のためにわざわざ移動するか疑問
- ・出発点となるには、集合のための交通機能が必要
- ・出発点となるには、大型バスも含めた駐車場が周辺に必要
- ・長崎駅に長崎市が設置している総合観光案内所機能があるが、これとの重複、棲み分け
- ・歴史文化博物館は、まずここで長崎の歴史の知識を得て、県内全域に行ってもらうための施設と位置づけられていたが、これとの棲み分け

用途・機能名	7-1	歴史公園、史跡公園	メイン5票
--------	-----	-----------	-------

1 当該機能の考え方（事務局としての整理）
 ・歴史や史跡を活かした公園として、なんらかの施設があるもの

2 委員アンケートで当該機能と組み合わせられた他の機能

4票 【10-2】 駐車場、地下駐車場

3票 【3-1】 県の観光・歴史文化の情報拠点

2票 【7-2】 くち広場、出し物展示場

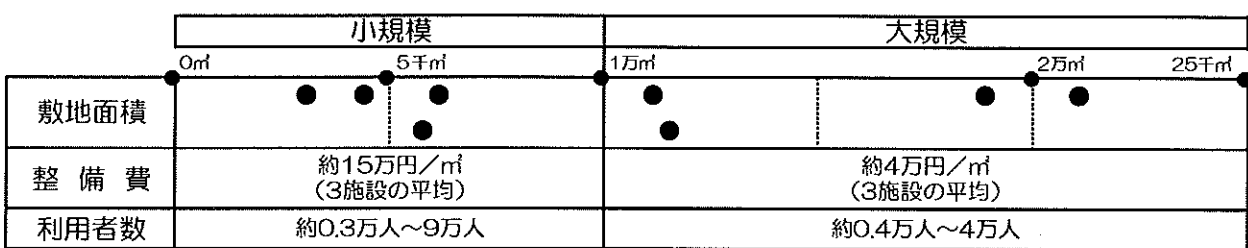
1票 【1-2】 歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点、【2-1】 長崎奉行所西役所（復元）
 【2-4】 石垣復元、【3-2】 観光の出入口となる拠点（まずここに来てそこから回遊）
 【6-1】 展望機能（展望タワー、展望台、展望ロビー）、【7-3】 イベントスペース
 【8-1】 特産品・土産品店（アンテナショップ、道の駅含む）
 【8-3】 飲食店、カフェ、レストラン、【10-1】 バスセンター、バスターミナル
 【12-2】 県民交流センター、【14-1】 大学・学校

3 類似事例の施設概要

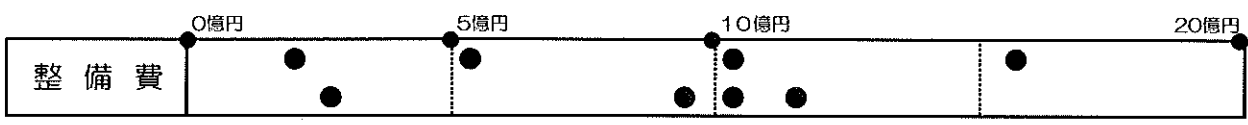
①調査事例の内容、施設構成等

当該用途機能	<ul style="list-style-type: none"> ○既存施設（石垣、町屋、門等）の保存、復元 ○資料展示や石碑、説明板などで歴史を知ることができる ○緑の木々、芝生などで憩いのスペース
他の用途機能で付帯しているもの	<ul style="list-style-type: none"> ○飲食施設（10施設中4施設） 茶室、茶屋、喫茶コーナー、料理店 ○資料館、美術館（10施設中4施設） 民具展示コーナー含む ○物販施設（10施設中1施設）

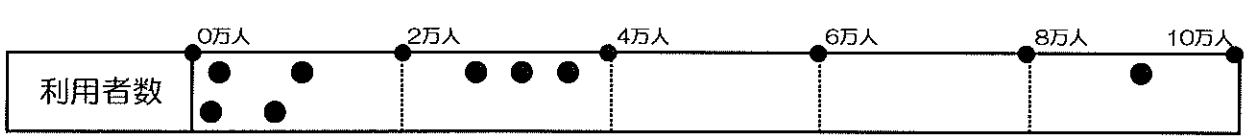
②規模別の概要



③整備費（分布）



④利用者数（分布）



<p>4 類似事例の特徴等</p> <ul style="list-style-type: none">・茶室での抹茶の提供の利用者が増加している・ボランティアの方が清掃、施設ガイド、喫茶コーナーの運営を行っている
<p>5 類似施設における成功要因・課題点</p> <p>①成功要因</p> <ul style="list-style-type: none">・ <p>②課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ボランティアの高齢化・わかりにくい場所のため案内板表示が必要・公共交通機関との連携や駐車場の整備が不十分
<p>6 駅構内にある観光案内所の方が利用が多い</p> <p>①利点</p> <ul style="list-style-type: none">・この場所の持つ歴史性を活かせる・まちの中心部に緑が少ないので憩いのスポットになる・急坂の休憩地点として高齢者に利用いただける <p>②課題点</p> <ul style="list-style-type: none">・類似事例を見る限り歴史公園単独では、集客数は多くは見込めない・具体の施設が残っていない

用途・機能名	7-2	くち広場、出し物展示場	サブ12票
--------	-----	-------------	-------

1 当該機能の考え方（事務局としての整理）
お祭りに使用される広場、山車が展示されている施設

2 委員アンケートで当該機能と組み合わせられた他の機能

4票 【10-2 駐車場、地下駐車場】

2票 【6-1 展望機能（展望タワー、展望台、展望ロビー）】
【8-1 特産品・土産品店】
【4-1 伝統芸能資料館、伝統工芸館】
【7-1 歴史公園、史跡公園】
【8-3 飲食店、カフェ、レストラン】

1票 【1-2 歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点、【2-1】長崎奉行所西役所（復元）】
【2-4 石垣復元、【3-1】県の観光・歴史文化の情報拠点、【3-2】観光の出入口となる拠点】
【3-2 観光の出入口となる拠点、【4-2】体験型観光集客施設、【4-3】世界遺産館】
【5-1 ランドマークタワー、シンボルタワー、【7-3】イベントスペース】
【11-2 劇場（演劇）、【12-3】青少年センター（青少年の学習機会・自主活動の場を提供）】
【13-1】行政窓口、【13-4】防災センター、防災広場・緊急避難所】

3 類似事例の施設概要

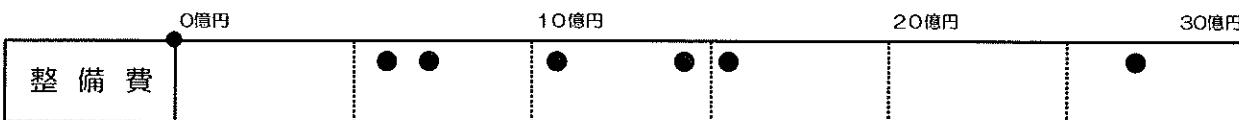
①調査事例の内容、施設構成等

当該用途機能	<input type="checkbox"/> おまつりのメイン会場となる広場 ・広場 ・トイレ ・駐車場 <input type="checkbox"/> 出し物展示をメインとする施設 ・出し物展示コーナー ・映像コーナー
他の用途機能で付帯しているもの	<input type="checkbox"/> 飲食施設（10施設中の2施設） <input type="checkbox"/> 物販施設（10施設中の1施設）

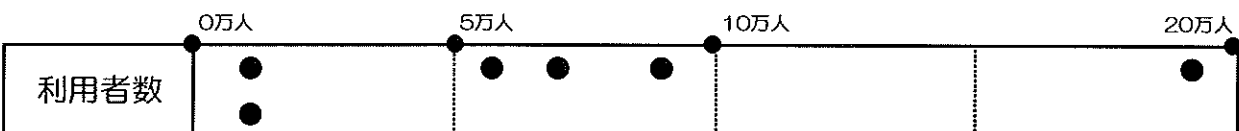
②規模別の概要

	小規模	大規模
敷地面積	0㎡ ~ 5千㎡	1万㎡ ~ 25千㎡
整備費	約51万円/㎡ (5施設の平均)	約9万円/㎡ (1施設)
利用者数	約1.1万人~18万人	-

③整備費（分布）



④利用者数（分布）



4 類似事例の特徴等

- ・お祭り広場としてはトイシ、駐車場が付属している事例が多い
- ・民有地を市が買収し民間企業と共同で整備
- ・最新の映像と音響による再現で祭りが体験できる
- ・現役を退いた山車が間近で見られる
- ・優秀な山車が展示されるため、出品する市民の目標になっており、活性化に寄与している

5 類似施設における成功要因・課題点

①成功要因

- ・山車を年間通してみる事ができる

②課題

・

6 長崎県県庁舎跡地に導入した場合の利点、課題点

①利点

- ・「長崎くんち」という特色を活かせる
- ・本物のくんちの演し物がくんち期間外でも見れるのであれば賑わいの創出に寄与

②課題点

- ・類似事例を見る限り、本物（退役含む）の展示が必要
- ・グラバー園内の伝統芸能資料館とのすみ分け、整理
- ・県が整備する場合、県内全域を対象とする必要がある

<p>4 類似事例の特徴等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に茶会等のイベントが開催されている ・防災公園として整備されているため、防災訓練でも活用 ・ショッピングやビジネスの合間の休憩所として利用する人が多い
<p>5 類似施設における成功要因・課題点</p> <p>①成功要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木が生い茂り中心市街地としてのオープンスペース機能を果たしていなかったが、オープンスペースとして再生備を行ったことで、利用者が増加し、賑わいが創出 <p>②課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場の雑草（外来種）の駆除 ・園内のホームレス対策 ・夜間に施設が壊される対策
<p>6 長崎県庁舎跡地に導入した場合の利点、課題点</p> <p>①利点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの緑地として憩いの場を創出できる（公園） ・災害時の避難場所として利用できる <p>②課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園（近隣利用）の場合は敷地面積2ha以上が標準。それでも面積的に不足。特殊公園（歴史公園、風致公園など）として整理できるかどうか。（江戸町公園又はその代替も含めた整理）

<p>4 類似事例の特徴等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークアンドライドの駐車場、連携した臨時駐車場運営で渋滞緩和に貢献 ・定期的にアンケート調査で実態を把握
<p>5 類似施設における成功要因・課題点</p> <p>①成功要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間利用できるため、利用者から好評 ・周辺交差点への案内板の設置で利便性向上 <p>②課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入庫できる車両に制限（高さ）がある
<p>6 長崎県県庁舎跡地に導入した場合の利点、課題点</p> <p>①利点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型バスの駐車場は不足しており、特に出島や中心商店街等との関係で寄与するものとなる ・まちの中心部で大きな通りに面した広い駐車場は殆どないため、マイカー利用者の行動起点となり周辺商店街等の売上増に寄与 <p>②課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備費用が高い ・民間との競合

用途・機能名	6-1	展望機能（展望タワー、展望台、展望ロビー）	サブ11票
--------	-----	-----------------------	-------

1 当該機能の考え方（事務局としての整理）
 単独のタワー（小規模）、展望台、展望ロビー（ビルの上層部）

2 委員アンケートで当該機能と組み合わせられた他の機能

4票 【3-1】 県の観光・歴史文化の情報拠点

3票 【5-1】 ランドマークタワー、シンボルタワー
 【10-2】 駐車場、地下駐車場

2票 【3-2】 観光の出入口となる拠点（まずここに来てそこから回遊）
 【7-2】 くんち広場、出し物展示場

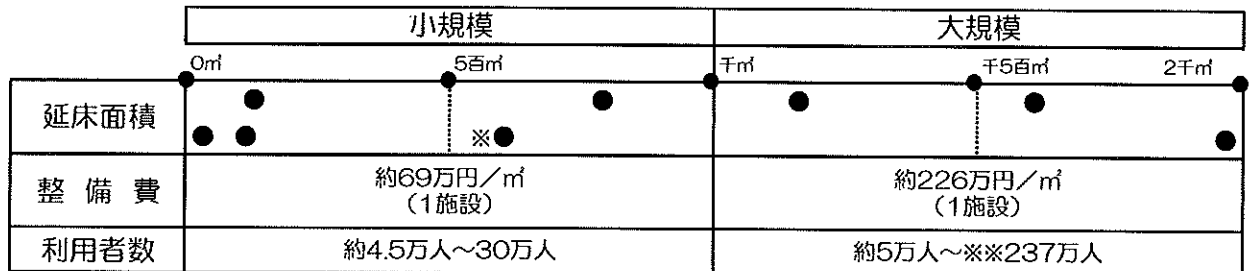
1票 【2-6】 歴史をバーチャル復元（西役所等、【7-1】 歴史公園、史跡公園
 【8-1】 特産品・土産品店（アンテナショップ、道の駅含む）
 【8-3】 飲食店、カフェ、レストラン、【11-2】 劇場（演劇）
 【12-2】 県民交流センター
 【12-3】 青少年センター（青少年の学習機会・自主活動の場を提供）

3 類似事例の施設概要

①調査事例の内容、施設構成等

当該用途機能	○エレベーターで上がり、景色を楽しむ ○デッキ的なものを設置し、歩いて登り、景色を楽しむ
他の用途機能で付帯しているもの	○物販施設（11施設中8施設） お土産コーナー等 ○飲食施設（11施設中8施設） 展望レストラン、喫茶など ○展示スペース（11施設中4施設） ○資料館（11施設中2施設）

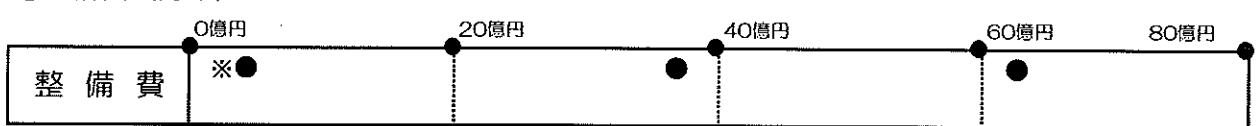
②規模別の概要



※階層数按分による相当額（7階建て中1階分）

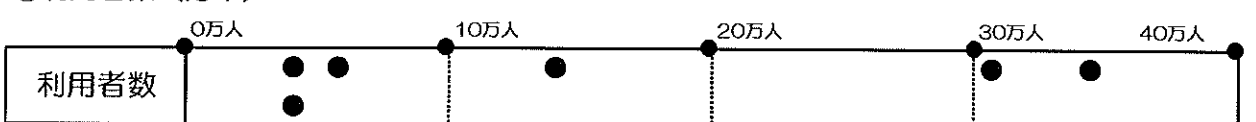
**商業施設利用者としての数

③整備費（分布）



※展望台を含む公園全体の整備費

④利用者数（分布）



※別途、商業施設利用者数を含む237万人あり

4 類似事例の特徴等

- ・10時～15時にボランティア観光ガイドが街並みや観光スポットについて無料で解説

5 類似施設における成功要因・課題点

①成功要因

- ・エレベーターがガラス張りになっており、利用者の評判がよい
- ・空港から市内に向かう動線上にあり、来訪者が立ち寄りやすい
- ・周辺では最も新しく、一番高い施設であり、眺望スポットとして利用者の好評を得ている
- ・展望ロビーの開放時間を夜間まで延長する等、利用率の向上に努めている
- ・マイスターの資格を持った観光ガイドが案内している
- ・無料で利用できることから旅行会社のツアーに組み込まれている

②課題

6 長崎県庁舎跡地に導入した場合の利点、課題点

①利点

- ・長崎を展望するには、稲佐山等にまで行く必要があるが、身近な景色や夜景を楽しめる

②課題点

- ・周囲の景観への配慮が必要（出島との調和）

用途・機能名	8-1	特産品・土産品店（アンテナショップ、道の駅含む）	サブ10票
--------	-----	--------------------------	-------

1 当該機能の考え方（事務局としての整理）
 ・物産館、道の駅、アンテナショップ又はその複合的なもの

2 委員アンケートで当該機能と組み合わせられた他の機能

6票 【10-2】 駐車場、地下駐車場

3票 【3-2】 観光の出入口となる拠点（まずここに来てそこから回遊）
 【6-1】 展望機能（展望タワー、展望台、展望ロビー）

2票 【7-1】 歴史公園、史跡公園
 【7-3】 イベントスペース
 【8-1】 特産品・土産品店（アンテナショップ、道の駅含む）
 【10-1】 バスセンター、バスターミナル

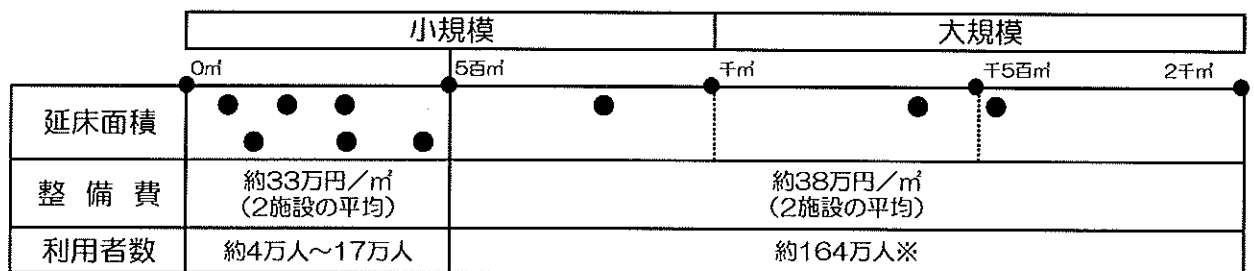
1票 【1-2】 歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点、【2-1】 長崎奉行所西役所（復元）
 【2-6】 歴史をバーチャル復元（西役所等）、【3-3】 離島の魅力を伝える施設
 【4-7】 コトハジメ館、【7-2】 くち広場、出し物展示場
 【11-5】 多目的ホール（中小コンベンション機能含む）、【12-2】 県民交流センター
 【14-1】 大学・学校

3 類似事例の施設概要

①調査事例の内容、施設構成等

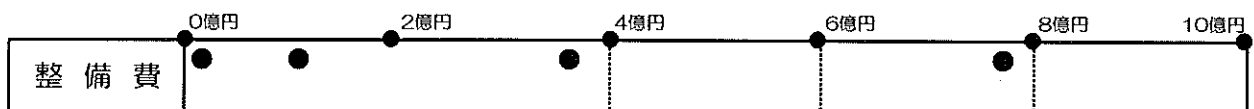
当該用途機能	○物産フロア ・特産品の展示、販売コーナー ・イベントスペース（実演など） ・休憩コーナー ・駐車場
他の用途機能で付帯しているもの	○展示スペース（10施設中6施設） ギャラリー、展示コーナー ○飲食施設（10施設中6施設） レストラン、喫茶、テイクアウトコーナー ○観光インフォメーション（10施設中4施設） 観光カウンター ○体験施設（隣接）（10施設中2施設） 果樹農園、漁業体験施設 ○交流スペース（10施設中6施設） 多目的ホール、イベントスペース

②規模別の概要



※道の駅

③整備費（分布）



④利用者数（分布）



<p>4 類似事例の特徴等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エントランスホールなど物販以外のスペースを含めても最大で1500㎡程度 ・ イベントスペースを設け、定期的にイベントを行う施設が多い ・ 体験型の施設を隣接する事例がある（花摘み体験、漁業（調理）体験） ・ 市の特産品を一堂に集める唯一の施設 ・ 地元食材を利用したメニューの提供などアンテナショップとしての機能を併せ持つ ・ 企業の商品の発信拠点としての活用や商談会
<p>5 類似施設における成功要因・課題点</p> <p>①成功要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客のほか地元住民も贈答品等で利用している ・ ソーシャルメディア（facebook等）を利用したPR <p>②課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特産品の生産者の高齢化、後継者不足
<p>6 長崎県県庁舎跡地に導入した場合の利点、課題点</p> <p>①利点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長崎には土産物を買える場所が少ないとの意見も多く、まちなかでの拠点となりうる ・ 地元市民も県内他地域の特産品を求めることができるので平日も一定の集客が見込まれる <p>②課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間との競合

用途・機能名	10-1	バスセンター、バスターミナル	サブ9票
--------	------	----------------	------

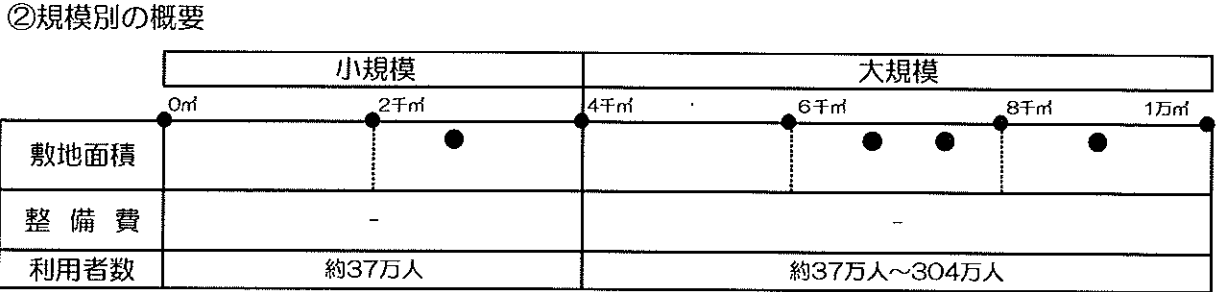
1 当該機能の考え方（事務局としての整理）
大規模なバスターミナルから小規模なものまで抽出

- 2 委員アンケートで当該機能と組み合わせられた他の機能
- 4票 【10-2】 駐車場、地下駐車場
 - 2票 【3-1】 県の観光・歴史文化の情報拠点
【3-2】 観光の出入口となる拠点（まずここに来てそこから回遊）
【8-1】 特産品・土産品店（アンテナショップ、道の駅含む）
【7-3】 イベントスペース
 - 1票 【7-1】 歴史公園、史跡公園
【11-5】 多目的ホール（中小コンベンション機能含む）
【14-1】 大学・学校
【13-1】 行政窓口
【12-1】 国際交流センター、国際文化会館、国内外の交歓・交流施設

3 類似事例の施設概要

①調査事例の内容、施設構成等

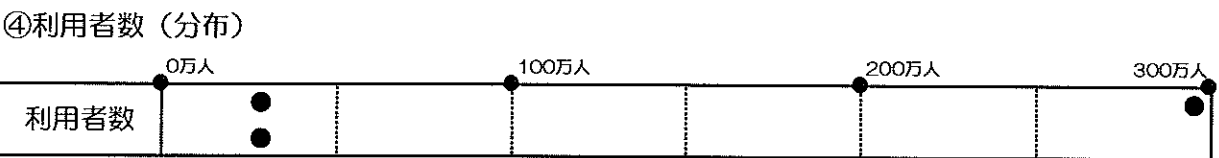
当該用途機能	○バスベイ ○チケット売り場 ○待合所
他の用途機能で付帯しているもの	○テナント（10施設中3施設） オフィス含む ○物販施設（10施設中3施設） 直営売店、物産所、書店 ○ホール（10施設中2施設） ○会議室（10施設中2施設） ○その他 図書館、ホテルなど（10施設中1施設）



③整備費（参考）

※ターミナル建設費については、他類似施設を参考に単価22.9万円/m²を使用した試算例あり（県交通局）

※ビルの1階をターミナルで使用している例では、単価27.5万円/m²の事例あり



<p>4 類似事例の特徴等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 空港バスや長距離バスまで含めたターミナルが多い・ 商業施設等との複合ビルの一部となっているケースが多い
<p>5 類似施設における成功要因・課題点</p> <p>①成功要因</p> <ul style="list-style-type: none">・ <p>②課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ テナント収入がないと経営が成り立たない
<p>6 長崎県庁舎跡地に導入した場合の利点、課題点</p> <p>①利点</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日常的に乗降が発生し、その一部は周辺に流れることも考えられ、賑わい創出には寄与する可能性がある <p>②課題点</p> <ul style="list-style-type: none">・ 民間売却等が前提か。・ 渋滞対策

